

公的施設整備に関するコンセプトについて

○ 公的施設の整備において特に重要な課題および解決のポイント

課題1

若者の流出などによる人口減少

- ・ 進学や就職などによる若者の市外流出が進んでいる
- ・ 若者に求心力のある施設などが不足している

課題2

働く場の多様性の不足

- ・ 若者や女性が求める職種やワークスタイルが多様化している中で、都会に比べてニーズに合致する職業選択の幅が狭い
- ・ 都会で得た知識や経験などを活かせる場所が少ない

課題3

次代を担う人材を育む環境づくり

- ・ 一ノ関駅東口周辺には、緑地公園が不足している
- ・ 子どもの遊び場や学生の交流の場が少ない

解決のポイント1

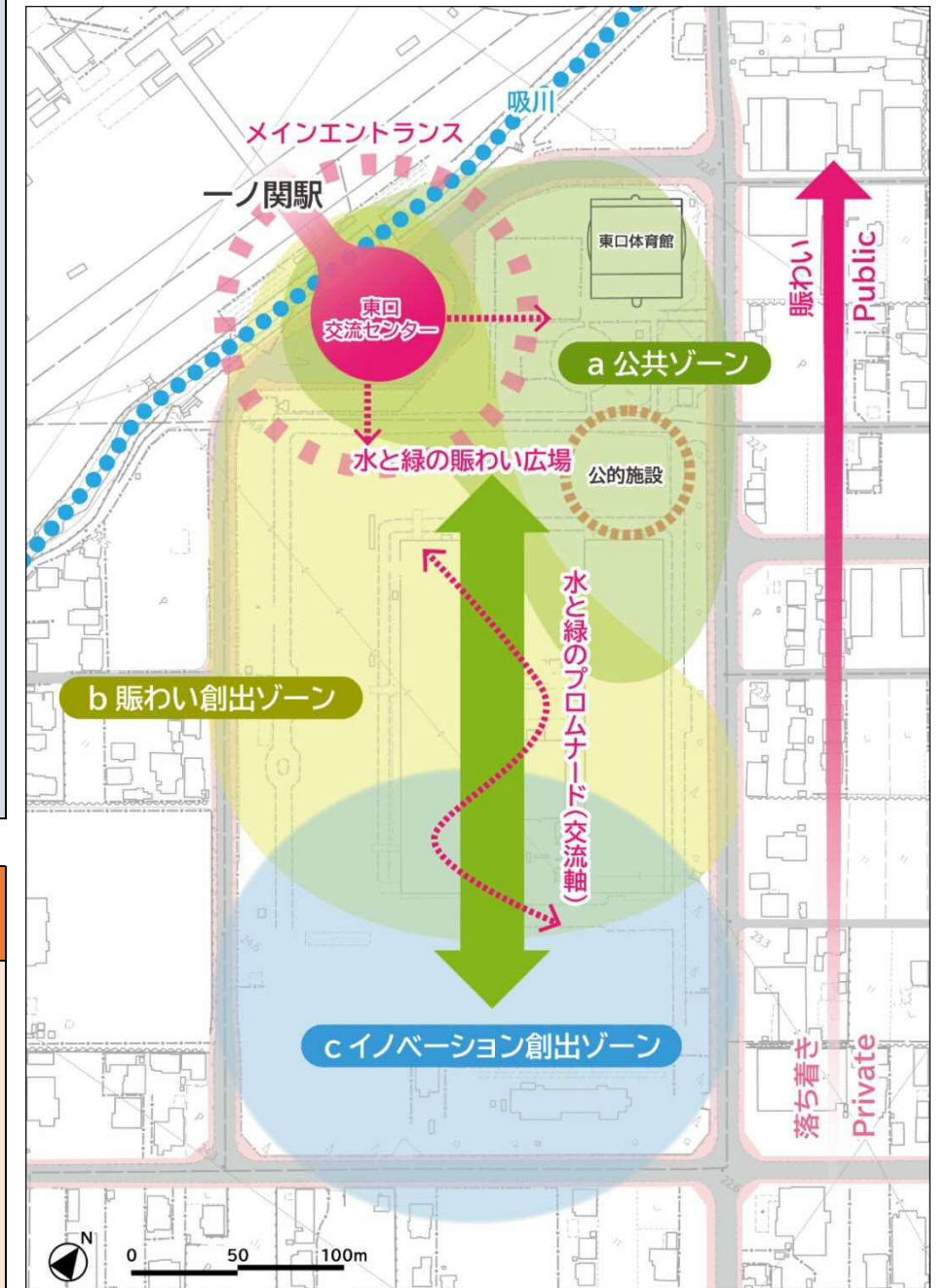
- ・ 人口減少下にあっても地域の活力を維持し、高めていく取組
- ・ 若者を呼び込む求心力のある施設整備
(例) 若者や学生が活動・交流できる場所
レクリエーション施設

解決のポイント2

- ・ 若者や女性が求めるような多様な職種、多様なワークスタイルを実現させる取組
- ・ 駅前の立地を生かし、かっこよく働ける場所として求心力のあるオフィス整備
(例) 貸しオフィス、コワーキングスペース
起業・創業支援施設

解決のポイント3

- ・ 若者、学生、子どもを育む環境づくり
- ・ 公園や広場と連続した子育て環境の充実
(例) 屋内型子どもの遊び場
若者や学生が活動・交流できる場所 (再掲)



○ 公的施設整備に関するコンセプト

雇用創出や新たな取組を促進するとともに、若者や子育て世代の交流拠点となる施設

【整備方針】

- ① この場所での直接的な雇用のほか、新たな取組を促すことでの間接的な雇用を創り出す場所とする
- ② 次代を担う人々（若者や子育て世代）が集まる交流拠点となり、エリア全体の賑わい創出につなげる
- ③ 民間活力によるエリア開発を誘引する
- ④ 駅前の立地を活かし、市内全域への波及効果を生み出す
- ⑤ 民間施設などの配置を踏まえて、導入する機能ごとに効果的な場所に配置する
- ⑥ 整備運営方式は、導入する機能に応じて積極的に民間活力の活用を図る